

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	車両固定のとび口を取り外した際の反動により、手背部を基台にぶつけた事案
3. 体験した事例の中心的要素	車両固定のとび口を取り外した際、ストッパーが強固であったため、反動により手背部を基台にぶつけたもの。
4. 体験した事例の原因・理由	出勤から帰署した安心感と普段から乗車している車両であることの油断から手袋を装着せずにとび口を取り外したため。

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。(誤った手順を取った等)
------------------	---------------------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	令和5年7月28日 午後10時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋内: 消防署車庫内
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	切り・こすれ
7. 事例体験時の活動	火災点検・整備、[その他: 帰署後、消火活動に使用したとび口の手入れ]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[23]歳、勤続年数[2]年、現場経験年数[2]年、階級[消防副士長] 同様の活動 [過去に1,2回程]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[48]歳、勤続年数[30]年、現場経験年数[8]年、階級[消防司令] 同様の活動 [頻繁]、任務 [車長]
○当事者C	年齢[37]歳、勤続年数[16]年、現場経験年数[14]年、階級[消防司令補] 同様の活動 [頻繁]、任務 [機関員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A・B・C	帰署	
経過2	当事者C	Aに消火活動に使用したとび口の手入れを指示	
経過3	当事者A	手入れのため車両に固定されているとび口を取り外した際に手背部を基台にぶつけ受傷	
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思えるか？
- ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

危険情報を把握、予見できなかった 集中力、注意力がなかった 個人装備が不適切だった

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならぬという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

資器材手入れ時は、現場活動後の虚脱感と疲労により注意力が散漫になることがあるので、全ての行動について細心の注意を払うよう署員に周知した。

○装備・資機材の対策について

- ・資器材手入れにおいても必ず手袋を着装することを署員に周知した。
- ・とび口のストッパーが強固であり、取り外す際に反動が生じることから、ベルクロで固定する方法に改修した。

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

事故発生状況



○とび口を右手で取り出そうとしている状況（手袋未着用）

○基台



○二段式とび口固定部

（状況）下段のとび口を上方側に取り出そうとした際、上段の基台部分に手背部をぶつけ受傷した。



○とび口の枝を固定するストッパー

（改修検討）ストッパーの支え部分が若干強固であった可能性があるためと判断し、この部分をベルクロで固定する方法に改修する。

なお、基部下面の鋭利な角に当て物を取り付ける。

改修後の状況



ストッパー部の改修



基台の改修